

りゅうそうざん きゅうじょうの会

事務局 静岡市葵区古庄3-19-34 (五井 卓丸)
電話・Fax 054-264-4918



未来をひらく **竜爪山九条の会・会報** 通巻11号 2008年4月

URL <http://www3.plala.or.jp/ryusozan9/>

関研一 蔵書展 2008年3月4日(火)～9日(日)



9:00 ~ 21:00

6日間で300人ちかい
皆さまの来場がありました。
公民館のサークル活動で来館された方々が多く立ち寄って下さいました。

リンク西奈2階 西奈公民館 展示ロビーにて開催

関研一さんの蔵書およそ5,000冊の中から、近・現代の戦争関連の書籍400点を展示。大判写真集、事典、雑誌、単行本、のらくろなどの漫画まで多種。また、小島孝子さん所蔵の、召集令状・軍票・軍部の宣伝用雑誌なども展示されました。

お詫び

最終日は時間を繰り上げ、午後4時に終わらせて頂きました。来場された皆さまには、ご迷惑をおかけいたしました。

申し訳ありませんでした。



田河水泡 (著)

『のらくろ』復刻版

蔵書展を終わって

関 研一（瀬名中央町在住 69 才）

読んだ本はスライド式の本棚の後ろへ引っ越し、再度日の目を見る事は、まあない。その本たちが展示会で鉢植えの花や年表、書評に飾られ、白い紙の上に工夫をこらして並べられると、ひとつのテーマの400冊は見映えもする。「読んで!」「見て!」と言って、喜んでいるようだった。

戦後63年、公式には「平和日本建設」と掲げて存在してきたのに、少しずつ戦争をしない国の看板を褪せさせ、ついに2001.9.11事件以後、自衛隊をイラクに派遣し、教育基本法を変え、改憲手続き具体化の国民投票法を成立させ、防衛庁を省に昇格させ、五年以内の憲法改正を目指している。

もう一度、歴史の流れの中に身を置いて、「追体験」をして、知って、時代を判断する習慣を確立したいものである。

歴史に盲^{めし}いる者は似た過ちを犯す可能性がある とか。
最後になりましたが、会場に足をお運びいただいた、おひとり、おひとり、そして運営にご協力くださった皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

本会の世話人



写真上 スクラップ専用ハサミと手製のケースです。

新聞の切り抜き

書評ばかりでなく目に留まった記事、主に政治面と社会面を切り抜いて、本の中に帯と共にはさんでおくのが関さん流。時がたって本を開いた時、当時の世情や物価がわかるという訳です。

ちょっと Q&A

Q どうしてこんなに本を集められたのですか？

幼少時、病弱でパラチフス・肺炎・赤痢にかかり、入院生活が長く「世界」は本の中にしかなかった。それを、知りたい、という思いのままに本を買い、読んでいる内にたまっていった。



自宅書齋の関さん

Q 全部読まれたのですか？

半分くらいは読んでませんね。本は4冊を同時並行で読むんですよ。1冊は英文の本。もう1冊は生徒さんの教材用。あと2冊は文芸書とか歴史の本なんかですね。

Q お金もかかったでしょうね？ Q 収納方法は？

本と書棚を合わせて、1千万にはならないでしょう。でも僕は車の運転も、マージャンやゴルフも出来ないし、海外旅行にも行かないからなあ。

収納は、スライド式書棚に、ほぼ作者別と種別にして。

Q 奥様が「そろそろ本の行き先を考えておいて、
といつも言っている」とおっしゃっていましたが...

本をとるか、あなたをとるか、よく考えてみよう。

Q 神様が1日にもう1時間増やしてくれたら、何をしますか？

半分は本を読みますね。もう半分は内容を反芻しつつ居眠りを。

蔵書展の感想を4人の方に寄せていただきました。

〔Y.N. (瀬名在住・50代女性)〕

会場に展示された書籍を前に、その数の多さと内容の重さに、しばし動きが止まってしまいました。



千人針

その中で、見覚えのある『戦争中の暮しの記録』(暮しの手帖社)に目がとまり、この本が実家の書棚の手に取り易い所にあり時々見ていたことを思い出しました。従軍した父、南方で兄を亡

くした母から戦争中の事については多くを聞いていませんが、この本を通して後世に伝えたいという両親の気持ちがあったのだと、今感じています。

戦争の直接体験を語る人々も少なくなり、世界各地で起きている争いについての報道にも関係ないこととして皆が目を向けなくなったら日本はどうなっていくのでしょうか。

今回展示された資料が今後も長く散逸されることなく大切に保存され、次世代の人々の目に触れる機会を得て、改めて戦争について考えるきっかけになって欲しいと思わずにはいられませんでした。



イラストは『戦争中の暮しの記録』暮しの手帖社 より

山畑善次（東瀬名在住・60代男性）

私は六十三才で島田市の田舎生まれです。物心付いて近所の子どもと遊ぶ時、友達の家にはよく遺影が飾られていました。二人分もある家があり、私の家には無かったので少しうらやましいと思いました。それがどんな写真とも知らずに。今は親になり孫もいる様になって、ようやくその家族のあの頃の気持ちがわかる様になりました。遠くからそっと手を合わせたいと思います。

又、近くの裏山には防空壕もありました。何か知らずよく友達と遊びに行きました。何の目的で作られたか、それも知らず、ただ遊び場としていたその頃の自分は幸せだったと思います。

今回の蔵書展では、どの写真も目を覆いたくなる様な、ほんとにこんな事があったのか、自分には少しはわかるが。これを今の若い人達に是非みてもらいたいと思います。昔話にならない様写真・本を見て読んで、いかに戦争が無意味であるかと知ってほしいと思います。



はたきの柄でビンの中の玄米をつくと三合の米が2時間ほどで七分づきくらいになった。

イラストは『わが世代 昭和十三年生まれ』河出書房新社編より
歴史を、その時の年齢の眼から描き直してみたい

📖👓 『わが世代』のシリーズは、大正10、15、昭和4、6、8、
11、13、16、20、22、26、31年生まれがあります。👓📖

K.K. (瀬名川在住・50代女性)

おっ、『のらくろ』『ガラスのうさぎ』『手塚治虫の...』と馴染みのある本が入口にありました。私にとっては敷居の高い「蔵書展」ちょっとホッとしつつ、知り合いの方と移動して行く中、手に取ってもよさそうでしたので、パラパラッと見ると、購入日は勿論お天気まで書き込まれていた本が多数あり、びっくり！

思いの強さ・深さを改

めて感じ入りました。

そして、こんな時必

ず、私の心のどこか

にリトマス試験紙

が出て来て、「お

前は本物か？ニセ

物か？」。とても

つらくなってしま

います。環境・介

護・教育・食、色々

な問題に取り組む度

に突きつけられ、自分

のいい加減さに落ち込

みます。戦争と平和についても、今までたくさんの本を紹介されて来ましたが、なかなか読み進みません。襟を正す様な気持ちで会場を進みました。コーナーにサロン風に椅子が置かれていました。この空気感はいい。すごくいい。そう！こんな雰囲気

気で、誰とでも、いつでも、世界中の平和について、普通に、当たり前前に語れたらいいんですね。



通りかかった友達に、「こんな事もしているの」と言われ、「寄って、手に取って見て行って」となぜか言えずモゴモゴしていた私。世界中の人が幸せになる事を願う気持ちは本物です...が。

本棚から『ガラスのうさぎ』を取り出しました。

〔宮 秀雄（古庄在住・60代男性）〕

関さんの書齋に初めて入って、とても驚いた。本の重さに耐えられるよう、頑丈に再建した家の二階、細長い書齋の両壁面に床から天井まで特注の三重スライド式書棚。彼の専門である英文学は勿論の事、文芸、社会科学、特に日本と世界の近・現代史関係、時事問題に限らず、雑誌、グラフ、はてはコミックに至るまで実に広汎に整理の上、所蔵されている。

圧倒された。

私も高校で歴史を教えていたこともあり、彼の蔵書の一部は私のそれと少々ダブっていてもいるが、これほど系統的に膨大に収集していたとは知らなかった。

さて、蔵書展であるが、今では絶版となって入手不可能な書籍が多い。そして、これらは人類の負の歴史、愚行の歴史の記録でもあり、貴重なものばかり。こんな宝を彼一人で所蔵しているとは。勿体ない。

日本の出版文化の上質な部分が存在することと、かつ若い世代に真実の近・現代史を知ってもらう上でも今後、何らかの保存と公開

の方策を考えても良いのでは。（写真下：小島孝子さん所蔵品）



展示会場のノートに書きこんで
くださった文章から。

📖 すごい蔵書展でした。まさか、
こんなにすごいとは思っていません
でした。よくこんなに集められた。
個人で。友人に電話して、ぜひ見に
来るといいと、すすめました。あり
がとうございました。 3/7 A.M.

📖 よくこれだ
けの書籍を集め
られたなと思っ
て見いってしま
いました。中で
も「不許可」写
真集なるものが
出されていたと
は驚きです。
3/9 S.M.



📖 提案です。
この蔵書を見た方々
が、お互いに語り合
う場を設けて、展示
の感想なり、又ご自
分の戦争体験なりを
輪になって自由に語
れる場を欲しかっ
た。隣室の第1集会
室で語り合えればよ
かったかなと。部屋
の借用料もかかるで
しょうから、人が多
く見に来てくれる日
と時間帯に設定する
とか…。市役所の市
民ギャラリーで展示
したらどうでしょ
う。市内他の九条の
会にも呼びかけて
…。 3/9 S.M.

絵：川東禮子

📖 平和のため
の戦争展、
8月13、14、
15?に、是非
展示したらど
うでしょうか。
3/9 浅見

📖 これだけの平和⇔戦争の資料
を集められた先生の思想にすごく感
じ入りました。この写真こそ、貴重
な反戦争の徴です。是非とも図書館
のコーナーの中に納められ、関文庫
をつくりたいですね。3/9 S.N.

T.M. (東瀬名在住・女性・六十代)

世界で最も死亡率が高いアフガニスタンの子供達。いつになったら戦争が終わりをつげるのか。地雷、テロといつも背中合わせの生活の中、夜と昼の気温差をよく耐えしのんでいると思う。

私達も田舎の生活で、貧しい日々を送って来ました。でもアフガニスタンの子供達との差は、違うものがある。お水にしる、食料にしても、日本では考えられないほどの貧困生活です。

世界中の人が一日も早く、平和な生活ができますように、心から祈るばかりです。

書き損じハガキと切手をカレーズの会にお届けしました。

往復ハガキ	¥100	20枚
普通ハガキ	¥50	156枚
〃	¥41	10枚
〃	¥40	2枚
〃	¥20	1枚
合計		189枚

未使用切手	¥100	36枚
〃	¥70	3枚
〃	¥50	12枚
〃	¥20	3枚
未使用収入印紙	¥20	3枚
合計		¥4,530

50円の書き損じハガキ(5円の手数料を引いて)がアフガニスタン・カンダハールのクリニックで働くスタッフの給与や子供たちの学用品になります。



- 葉書 190枚 用務員の給与1ヶ月分 写真レシャード・カレッド氏
- 葉書 270枚 予防接種スタッフの給与1ヶ月分
- 葉書 350枚 薬剤師・看護師の給与1ヶ月分
- 葉書 120枚 50人の患者に処方できる抗生物質薬5日間分
- 葉書 230枚 20人の子供達の勉強に必要なバック・筆記具の購入費

自己紹介

くぼた つよし
久保田 毅(瀬名川在住・65歳)

一生に一度でいいから「牛乳風呂に入りたい」、これが夢。それほど牛乳大好き人間。娘からお父さんの乳からミルクが出るよと。

毎朝体操600回、テニスラケット素振り300回。大学での勤務後、帰宅して腕立て150回、鉄アレー300回。

これが私の健康保持日課。



スポーツ全般ほか、国内・海外マラソン、サイクリング(中国大陸・ベトナム800km)カヌー、乗馬等、風を切ることが好き。

それもこれも憲法九条あつての平和な日本、感謝しつつ守りたい。(呼びかけ人)



1998年中国大陸サイクリングの旅



写真右上：中国黄土高原の菜の花畑 写真上：現地購入の自転車で走る一行(お医者さんが乗ったマイクロバスとトラックが併走) 写真右：旅の終わりに自転車を現地の学校に寄贈



☺☺ 2008年2月19日静岡新聞・朝刊に「スリランカに眼鏡300個、ペン2000本」と題して、久保田さんが紹介されました。☺☺

3月30日、世話人会が開かれました。

- ・ 講演会と蔵書展の反省
- ・ これからの活動
- ・ 総会の実施

などについて話し合われました。

親睦をかねての総会

とき：5月18日（日）16:00～

ところ：南瀬名町公民館 予定

参加費：2,000円（食事付き）予定

絵：川東禮子

おすすめ本

16歳からの平和論

『永遠平和のために』

イマヌエル・カント（著）
池内 紀（訳） / 写真・藤原真也（他）

いけうち おさむ

池内



集英社 1365円 114p

じっと世の中を見てきた老哲学者が、やむにやまれずペンをとった。哲学ではなく平和を語った。いかにすれば地球上から戦争をなくすることができるのか。本の帯より

平和というのはすべての敵意が終わった状態をさしている。本文より

草餅や書き出し同じ母の文

栗田 千代子



会員数 3月25日現在

呼びかけ人 142名

賛同者 232名

合計 374名

私たちは
憲法九条を守る
輪を広げます。

竜爪山九条の会 発会1周年記念イベント 会計報告

収 入	寄付金・現金(47名)	61,500円
	寄付金・振込(5名) 3月15日着分まで	15,000円
	合計	76,500円
支 出	西奈公民館ホール使用料	6,480円
	講師謝礼(内、315円は振込料)	30,315円
	講演謝礼(アレンジフラワー)	2,100円
	講演会・設営費	5,000円
	蔵書展諸費用 芳名帳・飾りつけ鉢花・缶飲料(搬入時の休憩時)等	4,530円
	紙・印刷・コピー代(チラシ・ポスター・会報・展示)	16,738円
	寄付金の振込分手数料	520円
	合計	65,683円
差引額		10,817円

蔵書展の書籍リスト集(書評等含む)をおわけします。(300円)

絵手紙
川東禮子さん
南瀬名在住



編集後記

一周年記念イベントは、多くの皆さまのお力添えで、無事終了できました。ありがとうございます。た。おかげさまで、本会の趣旨に賛同してくださる方が増えまし

た。憲法九条を守る輪を広げてゆくために、何をしていったらよいのか、どうぞ、みなさまのご意見、アイデア、また遠慮のないお小言などをお寄せください。写真・書・絵・俳句、短歌等も大歓迎です。

E-mail ryusozan9zyo@ymail.plala.or.jp

ホームページは検索サイトから『竜爪山九条の会』

でご覧になれます。 URL <http://www3.plala.or.jp/ryusozan9/>

☎・FAX 五井 / 264-4918 三輪 / 261-9645 寺井 / 261-8362